

ヒューマンエラー、ポカミス研修シリーズ

■ヒューマンエラー、ポカミス

●ヒューマンエラー、ポカミス発生の影響は大きい

[社内影響] → 「事故・災害」「品質」「コスト」「納期」「安全衛生」「売上・利益の減少」など
 [社外影響] → 「顧客満足低下」「周辺住民への迷惑」「公害・環境問題」「信用低下」など

●なぜ発生するのか

エラーは、作業・動作などを正しい方法で実行しないことによって発生します。

会社での正しい方法(正解)は、標準や手順など当事者が守るべきルールのことになります。

当事者が正しいことを行わない理由は「故意のルール違反」と「故意でないルール逸脱(ポカミス)」に大別されます。

●どうやって防ぐのか

ヒューマンエラーを防止するには、「ルール違反」や「ポカミス」の要因を突き止め、是正・予防する事が必要です。

「ルール違反」には、意図的なものや油断、慢心、だろろ判断、心理的問題などの要因があります。

「ポカミス」には、誤認や勘違い、思い込み、忘れ等の要因があります。

対策は、発生要因を分類し、是正・予防処置を行います。

エラー、ミスは、なぜおこる？

「あるべき姿、目標、計画、基準・標準・手順、常識」などと「行動・作業」に 違い(=問題)が生じた結果から 起こるもの

【あるべき姿】 (正解)
 目標、計画、基準・標準・手順、常識など

あるべき姿、正解と違うことをするから!!

違い=問題 (エラー行動)

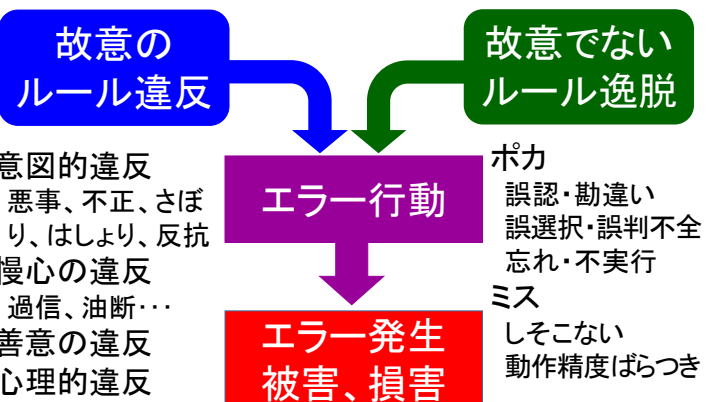
エラー行動

【実態】
 行動、作業内容の間違い、モノの選択違いなど

【エラー、ミス】
 人による過誤、失敗の結果から発生する災害、不良、破損、損害…など

©Tateiba Seiji 2018 Tokyo.jp

当事者責任のヒューマンエラーは大別すると二系統！



※ ポカミスは、ヒューマンエラーの一部

ヒューマンエラーは、「意図しない結果を生じる人間の行為。(JIS Z8115:2000)」と、定義されています。ポカミスは、ヒューマンエラーのなかで、当事者の「ポカ」や「ミス」が原因で発生した失敗という位置づけになります。

■研修シリーズ（3種類の研修をご用意しております）

研修名	対象者	基本日数	備考
実務のエラー、ポカミス対策	[指導監督者] 第一線監督者 (課長) [実務者] 改善担当者 実務者	2日	発生メカニズム、原因究明、対策、心掛け等について学びます。講義、ケース演習、自社診断でポカミス防止を理解し実践を促します。
ヒューマンエラー、ポカミスの対策と予防	[管理層] 課長、管理・改善担当者 (部長、工場長)	3日	ヒューマンエラー、ポカミスの、是正・予防処置と管理について学びます。講義、ケース演習、自社診断で理解と実践を促進します。
会社のリスク、ヒューマンエラー マネジメント	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長	1日	エラーのリスク、発生原因、背景要因と会社の対応について学びます。エラーを発生させない仕組みの構築を考えます。

■研修計画のお勧め

※各研修のパンフレットは、お問合せによりお送りします。

「実務のエラー、ポカミス対策」

「とりあえず実務のエラーを何とかしたい」とお考えでしたら、まず実務者層の方々に、この研修を受講していただければ良いと思われれます。

実務者の役割 … 当事者が気を付ける事と是正・予防処置をきちんと行うこと。

自分は 何をすべきか、心掛けることは…などを考え、エラー削減の効果が得られます。

「ヒューマンエラー、ポカミスの対策と予防」

「対策を行い、有効なヒューマンエラー、ポカミスの防止活動を継続したい」とお考えでしたら、管理職の方々の受講をお勧めします。

管理職の役割 … 管理によって防げるエラーが多くある。

多くのヒューマンエラー、ポカミスは、管理活動により防ぐことができます。むしろエラー対策は、管理職がきちんと管理活動をするにかかっているとんでも過言ではありません。

「会社のリスク、ヒューマンエラー マネジメント」

エラーの直接要因は「ルール違反」「ポカミス」ですが、背景には 人材・配員、組織・業務管理、設備環境状態等の間接要因が隠れていることが多くあります。ヒューマンエラー、ポカミスが発生しやすい体制や環境、管理状態などの存在は、会社経営の大きなリスクと言えます。

経営層の役割 … コンプライアンスと、エラーが発生しにくい仕組み・環境づくり

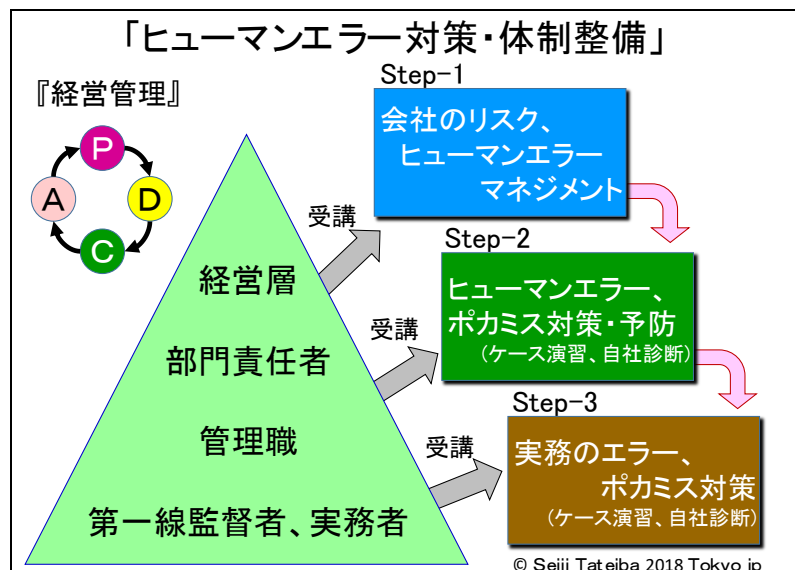
この経営資源を整備するのは、経営層・責任者層の判断です。全社でエラー防止に取り組まれるのであれば、まず経営層による受講から始められることをお勧めします。


●研修のセット化のお勧め

会社全体でヒューマンエラーの対策をお考えでしたら、セットでの実施をお勧めします。

可能ならば、全社の管理体制の再検討を考え、「経営層」→「管理層」→「指導監督者」の順で、計画される事をお勧めします。

社内の各階層で受講する研修のセット化が理想です



	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。	[お問合せ]
---	-----------------------------	------------------------------------	------------------------

	<p>株式会社 IMEコンサルティング</p>	<p>東京都大田区蒲田 http://www.ime-net.com https://www.facebook.com/IMEconsulting/</p>
---	--------------------------------	---

■会社概要

株式会社IMEコンサルティングは、経営・管理の技術開発を行い、製造業を中心とした企業様に、コンサルティングや研修などを通じて経営支援をさせていただいております。

<p>業務開始 1991年3月1日 (日本能率協会を通じて) 創業年月日 1998年8月1日 (直接受注開始) 設立年月日 2001年7月3日 (株式会社登記) 設立会社名 株式会社 IMEコンサルティング 所在地 東京都大田区蒲田 代表取締役 立居場誠治 資本金 1千万円</p>	<p>東京商工会議所会員 蒲田法人会会員 日本能率協会講師 中小企業大学校講師</p>
---	--



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・診断システム
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・新製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築 (経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・機械化・自動化・スマート化
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理 (IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理 (工数設備効率、品質コスト)

IMEでは、日本能率協会、中小企業大学校等に、カリキュラム、テキスト、資料等の提供、講師派遣などを行っております。

■講師プロフィール

株式会社 IMEコンサルティング
 代表取締役 立居場 誠治 (たていば せいじ)

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。

1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等の活動を行い、1998年に独立し、現在に至る。

製造業のコンサルティングを中心とし、経営戦略立案、新製品・新事業開拓、原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。



著書 『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会)
 『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』(コンテンツ堂) など

■研修実施の要領

弊社の各種プログラムを、御社ご指定の場所で研修いたします。
 研修プログラムは、ある程度のカスタマイズは可能です。また、新規作成も可能です。
 なお、社内研修は、外部研修と比べ、多くの人材が同時に同じ研修を受講し、学ぶことが可能なため、共通の認識・理解が得られ、以降の各種活動がスムーズになる効果があります。

※ 全国各地に出講いたします。(出講した都道府県)

北海道、秋田、岩手、福島、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、愛知、富山、石川、福井、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

以上 [\[お問合せ\]](#)